

## 5 【分析3】 通過率 30%未満の児童生徒の状況

### (1) 教科における学習内容の定着状況

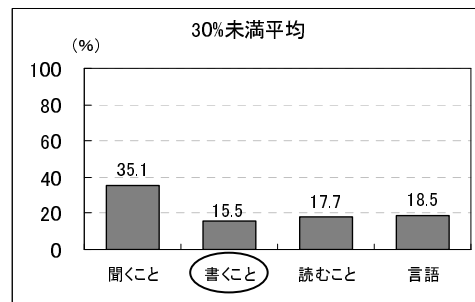
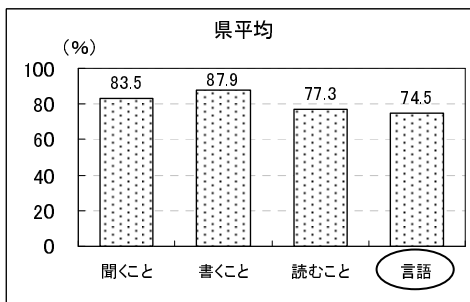
ここでは、教科ごとに、通過率 30%未満の児童生徒の領域等の定着状況を、県平均と比較し、グラフ及び表で示した。

その際、グラフでは、最も平均通過率が低かった領域等を ○ で囲み、表では、最も平均通過率の差が大きかった領域等をゴシックにし、網かけで示している。

- 国語について、通過率 30%未満の児童生徒は、小・中学校とも「書くこと」の領域が最も低く、県平均との差も最も大きい。
- 算数・数学について、通過率 30%未満の児童生徒は、小学校では「数量関係」の領域が最も県平均との差が大きいが、中学校では「数と式」や「関数」の領域で、県平均との差が大きくなっている。
- 英語について、通過率 30%未満の生徒は、「話すこと」の領域は、他の領域と比較すると通過率が高く、県平均との差も最も小さいが、「書くこと」の領域は、通過率が最も低く、県平均との差も大きい。

## 国語

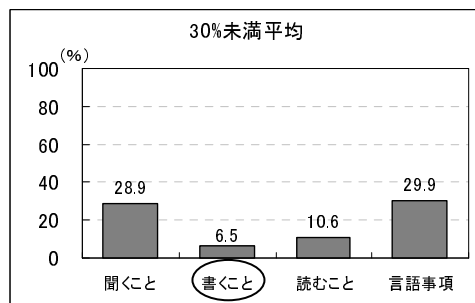
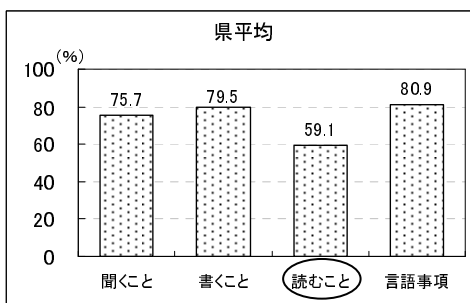
### ◆ 小学校



	県平均	30%未満平均	差
聞くこと	83.5	35.1	48.4
<b>書くこと</b>	<b>87.9</b>	<b>15.5</b>	<b>72.4</b>
読むこと	77.3	17.7	59.6
※言語	74.5	18.5	56.0

※言語…伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

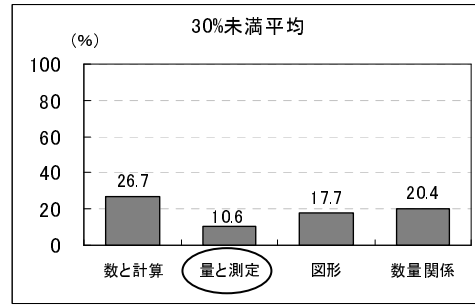
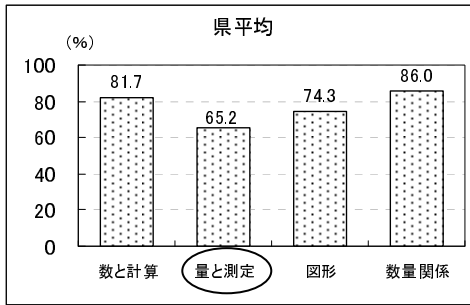
### ◆ 中学校



	県平均	30%未満平均	差
聞くこと	75.7	28.9	46.8
<b>書くこと</b>	<b>79.5</b>	<b>6.5</b>	<b>73.0</b>
読むこと	59.1	10.6	48.5
言語事項	80.9	29.9	51.0

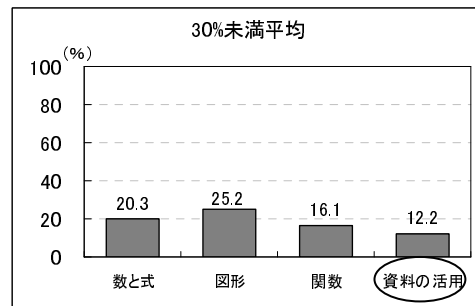
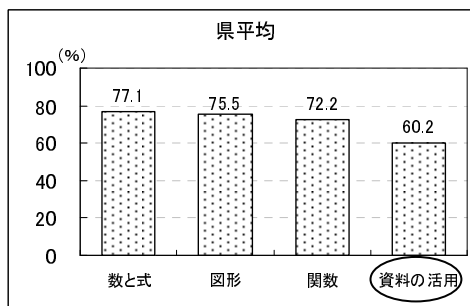
# 算数・数学

## ◆ 小学校



	県平均	30%未満平均	差
数と計算	81.7	26.7	55.0
量と測定	65.2	10.6	54.6
図形	74.3	17.7	56.6
数量関係	86.0	20.4	65.6

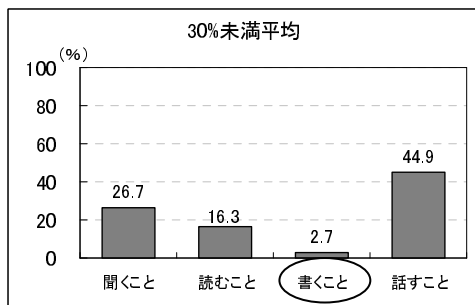
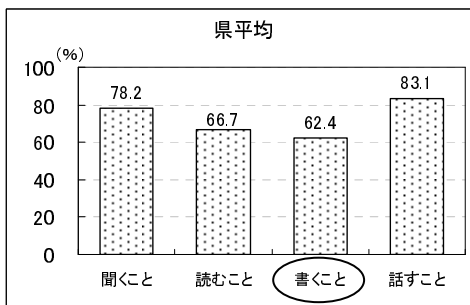
## ◆ 中学校



	県平均	30%未満平均	差
数と式	77.1	20.3	56.8
図形	75.5	25.2	50.3
関数	72.2	16.1	56.1
資料の活用	60.2	12.2	48.0

# 英語

## ◆ 中学校



	県平均	30%未満平均	差
聞くこと	78.2	26.7	51.5
読むこと	66.7	16.3	50.4
書くこと	62.4	2.7	59.7
話すこと	83.1	44.9	38.2

## (2) 児童生徒質問紙調査（生活と学習に関する調査）の回答状況

ここでは、児童生徒質問紙の生活と学習に関する調査について、県全体の肯定的な回答（「よくあてはまる」「ややあてはまる」）の割合と、通過率 30%未滿の児童生徒の肯定的な回答の割合を比較した。

その際、差が大きい3つの領域について、それぞれ肯定的な回答の差が大きい3つの設問を取り上げた。

また、小・中学校で共通する項目は、ゴシックにし、網かけで示している。

○ 県全体と通過率 30%未滿の児童生徒を比べると、「学習習慣」「思考力」「表現力」に関する領域について、肯定的な回答の割合の差が大きい。

○ 「学習習慣」「思考力」「表現力」に関する領域について、肯定的な回答の差が大きい設問（3問）のうち、小・中学校で共通する項目は次のとおりである。

<学習習慣>

・「分からないことはそのままにせず、分かるまで努力しています。」

・「学校の授業の復習をするようにしています。」

<思考力>

・「見たことや考えたことを人に伝えるとき、どのような順番で説明すると分かりやすいか考えています。」

・「ものごとを解決するとき、たぶんこうではないかと予想しています。」

<表現力>

・「なぜ、そうなるのか、理由をつけて話しています。」

・「相手や目的に応じた話し方をしています。」

### ◆ 小学校

領域	県平均	30%未滿平均	差
生活習慣	88.4	69.4	19.0
<b>学習習慣</b>	<b>66.1</b>	<b>43.1</b>	<b>23.0</b>
<b>思考力</b>	<b>73.3</b>	<b>47.9</b>	<b>25.4</b>
<b>表現力</b>	<b>70.5</b>	<b>46.6</b>	<b>23.9</b>
学習動機・学習意欲	78.3	55.4	22.9
社会的事象への関心や体験	79.7	61.8	17.9
読書活動	63.8	46.5	17.3
自己実現力・自己効力感	78.0	59.8	18.2

### ◆ 中学校

領域	県平均	30%未滿平均	差
生活習慣	87.7	67.9	19.8
<b>学習習慣</b>	<b>51.9</b>	<b>22.8</b>	<b>29.1</b>
<b>思考力</b>	<b>63.4</b>	<b>33.1</b>	<b>30.3</b>
<b>表現力</b>	<b>65.9</b>	<b>33.4</b>	<b>32.5</b>
学習動機・学習意欲	73.2	50.4	22.8
社会的事象への関心や体験	71.1	49.7	21.4
読書活動	54.5	33.5	21.0
自己実現力・自己効力感	64.5	44.8	19.7

■ 肯定的な回答（「よくあてはまる」「ややあてはまる」）の差が大きい設問（3問）のうち、小・中学校で共通する項目をゴシックにし、網かけにしている。

◆ 小学校

<学習習慣>

■ 学校で習ったことをふだんの生活の中で思い起こしたり、利用したりしています。

○ 県 : 79.3%  
● 30%未満 : 50.3%  
★ 差 : 29.0 ポイント

■ 分からないことはそのままにせず、分かるまで努力しています。

○ 県 : 79.0%  
● 30%未満 : 50.5%  
★ 差 : 28.5 ポイント

■ 学校の授業の復習をするようにしています。

○ 県 : 60.4%  
● 30%未満 : 38.6%  
★ 差 : 21.8 ポイント

<思考力>

■ 見たことや考えたことを人に伝えるとき、どのような順番で説明すると分かりやすいか考えています。

○ 県 : 70.9%  
● 30%未満 : 39.7%  
★ 差 : 31.2 ポイント

■ ものごとを解決したり決めたりするとき、なぜそうなるのか理由を考えています。

○ 県 : 70.8%  
● 30%未満 : 43.7%  
★ 差 : 27.1 ポイント

■ ものごとを解決するとき、たぶんこうではないかと予想しています。

○ 県 : 85.0%  
● 30%未満 : 58.2%  
★ 差 : 26.8 ポイント

<表現力>

■ なぜ、そうなるのか、理由をつけて話しています。

○ 県 : 67.5%  
● 30%未満 : 39.7%  
★ 差 : 27.8 ポイント

■ 相手や目的に応じた話し方をしています。

○ 県 : 77.9%  
● 30%未満 : 52.9%  
★ 差 : 25.0 ポイント

■ 自分の考えや意見を、具体的な例をあげ順序に気をつけながら話しています。

○ 県 : 68.2%  
● 30%未満 : 44.0%  
★ 差 : 24.2 ポイント

◆ 中学校

<学習習慣>

■ 分からないことはそのままにせず、分かるまで努力しています。

○ 県 : 66.0%  
● 30%未満 : 23.5%  
★ 差 : 42.5 ポイント

■ 学校の授業の復習をするようにしています。

○ 県 : 52.1%  
● 30%未満 : 21.1%  
★ 差 : 31.0 ポイント

■ 自分で勉強の計画を立てています。

○ 県 : 47.0%  
● 30%未満 : 18.3%  
★ 差 : 28.7 ポイント

<思考力>

■ ものごとを解決するとき、たぶんこうではないかと予想しています。

○ 県 : 76.0%  
● 30%未満 : 39.4%  
★ 差 : 36.6 ポイント

■ 見たことや考えたことを人に伝えるとき、どのような順番で説明すると分かりやすいか考えています。

○ 県 : 60.1%  
● 30%未満 : 26.8%  
★ 差 : 33.3 ポイント

■ 自分の考えと他の人の考えを比較しながら聞いています。

○ 県 : 65.1%  
● 30%未満 : 33.8%  
★ 差 : 31.3 ポイント

<表現力>

■ 相手や目的に応じた話し方をしています。

○ 県 : 82.0%  
● 30%未満 : 39.3%  
★ 差 : 42.7 ポイント

■ なぜ、そうなるのか、理由をつけて話しています。

○ 県 : 62.0%  
● 30%未満 : 28.6%  
★ 差 : 33.4 ポイント

■ 自分とちがう意見も受け入れながら、自分の考えを話しています。

○ 県 : 66.1%  
● 30%未満 : 33.8%  
★ 差 : 32.3 ポイント